課題名 「人工知能を用いた労働者のメンタルヘルス改善システムの研究開発」

公開用

筑波大学医学医療系・道喜将太郎

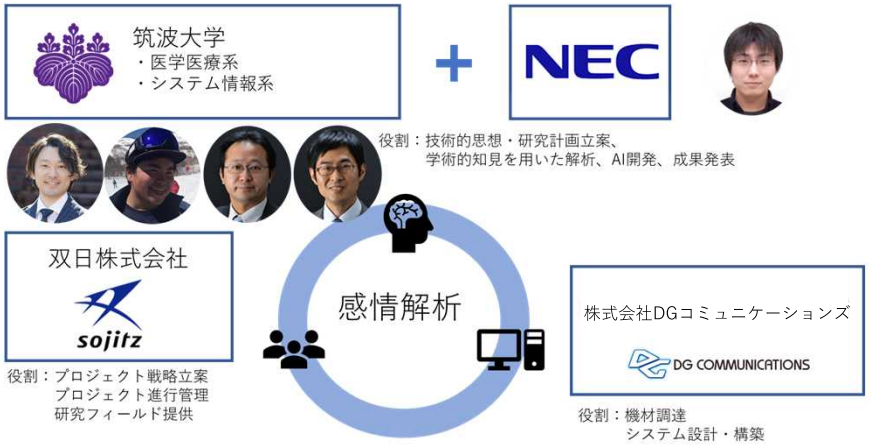
【医療現場のニーズ・現状・問題点 】
プレゼンティーイズム（就業疾病状態）を最小限にし労働者が適切な業務負荷のもと最大限の生産性を発揮することを目指す

【目指す機器・システム・技術等】
労働者の感情やパフォーマンスを、主観的な自己申告に依拠せずに客観的な情報から自動的に推定するAIモデル開発

【技術開発要素等】
感情やモチベーションを推定できる汎用的な感情推定基盤モデル

【社会へのインパクト・ベネフィット】
感情をデータ化する技術は労働者の健康・労務管理だけではなく多領域への水平展開

研究チーム

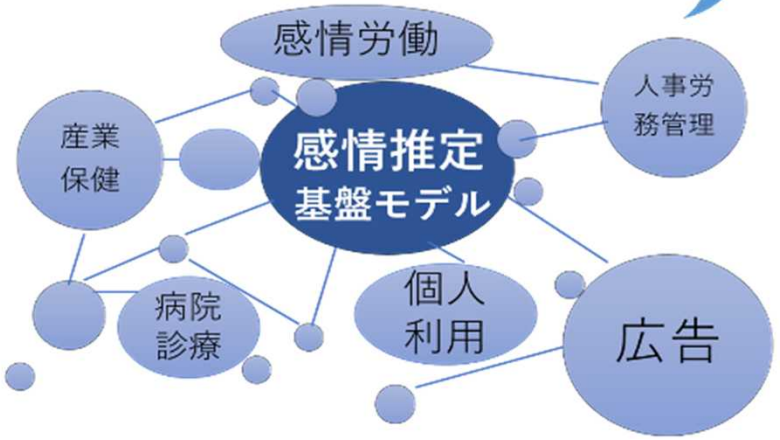


アプリケーションへの
フィードバック

汎用的感情推定基盤モデル
（Foundation model）

多領域への展開

感情推定基盤モデルの開発と、
人事労務管理のAPIモデルを作成
感情推定基盤モデルの使用例を世に示す



特許出願中：特願2024-149958

2024年11月時点